

平成 30 年度和歌山市 水辺空間を生かした まちづくり手法検討・調査事業 報告書

本編

目次

I. 前提

6.2. ステークホルダー②（近隣住民）	39
6.3. ステークホルダー③（ミズベドリンクス発表者まとめ）	41
7. 治水管理者の調査	44
8. 今後の市役所の水辺への投資、整備機会	45
9. まちなかの位置づけ	45

II. まちと水辺の未来像

1.	水辺のありかたを議論する場：ミズベ会議等の概要.....	1
1.1.	ミズベドリンクス	1
1.2.	第1回ミズベ会議.....	1
1.3.	第2回ミズベ会議.....	2
1.4.	ミズベシンポジウム	2
1.5.	第3回ミズベ会議.....	3
1.6.	わかやま水辺協議会（仮称）創設に向けた意見交換会.....	3
1.7.	水辺交流会	4
1.8.	和歌山水辺観光フューチャーセッション vol.1.....	6
1.9.	和歌山水辺観光フューチャーセッション vol.2.....	6
1.10.	水辺オープンミーティング.....	7
2.	未来像：仮説.....	8
2.1.	12の目標像.....	9
2.2.	8つの仕組み.....	15
2.3.	短期中期長期目標.....	17
2.4.	ペルソナ.....	18
2.5.	タスクフォース.....	22
3.	社会実験.....	27
3.1.	社会実験対象の設定	27
3.2.	成果指標.....	28
3.2.1.	管理者が規制緩和を行えるかどうかの判断するための指標づくり	28
3.2.2.	来街者のアクティビティ 「滞在時間」×「人数」	29
3.2.3.	経済性確認 売上把握など	38
3.2.4.	センシュアスシティ	40
3.3.	のぞましい社会実験のあり方	42
3.3.1.	OODA ループ	42
3.3.2.	計画しても物事が思い通りにすすまないことを認識する.....	43
3.3.3.	信頼関係の構築	43
3.3.4.	機運の醸成に努める	43
3.3.5.	成果の共有	43
3.3.6.	仮説の実証	43
3.3.7.	やりやすいことからはじめる	43
3.4.	社会実験の実施状況：2017年度	44
3.4.1.	直接開催事業.....	45
3.4.2.	協調開催事業.....	50

3.4.3. 調査事業	52
3.4.4. 検証	64
3.4.5. 社会実験の総括:2017 年度	65
3.5. 社会実験の実施状況 : 2018 年度	76
3.5.1. 事前調査	80
3.5.2. わかやま水辺チャレンジ	85
3.5.3. 地先利用	91
3.5.4. 舟運	94
3.5.5. 水上アクティビティ	106
3.5.6. イルミネーション	108
3.5.7. 総合学習	111
3.5.8. その他	116
3.5.9. 河川管理者との協議許可申請	121
3.5.10. PR	122
3.5.11. 滞留時間向上の試み	125
3.5.12. 社会実験の総括:2018 年度	127
4. 水辺 NEXT	139
4.1. 目的	140
4.2. 水辺空間を生かしたまちづくりを行うことで期待される 10 の効果	142
4.3. 対象とする場所	143
4.4. 水辺 NEXT を提唱する主体	145
4.5. 水辺 NEXT の 12 の目標像	151
4.6. ミッション 2019	154
4.7. アクションプラン 2019	156
4.8. 目標を達成するための手法、考え方	166
4.9. 水辺 NEXT 達成のためのミッションごとのロードマップ	168